

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
リハビリテーション特別講義Ⅱ		選択	1	1.2	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	医療や福祉の第一線で活躍している先輩を招き、それぞれの専門性を学び、理解を深める。また、実際の臨床の課題や実践的な話を聞くことによって、将来、臨床において連携し、協働できる臨床家になることを目指す。テーマを設定し関連する臨床家が、それぞれの専門の見地から実践の成果等に関する話題を紹介・解説する。Teams (Microsoft) を利用して同時双方向型遠隔授業を行う。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	臨床家の各職場での実践的な内容を展開するので意欲を持って主体的に学習して欲しい。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	当該分野に関する知識や認識を深めて、視野を広げて考えることが出来る。			HSU(1)、HSU(4)	
②	当該分野における講義を聞き自分の意見を持ち要約 (表現) することが出来る。			HSU(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	理学療法士として急性期病院で働くことについて考える。 -事例を中心に	同時双方向型授業	急性期における理学療法士業務を復習する。	4.5	
2	理学療法士として維持期施設で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	維持期における理学療法士業務を復習する。	3.5	
3	作業療法士として急性期病棟で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	急性期における作業療法士業務を復習する。	3.5	
4	作業療法士として通所介護施設で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	支援学校における作業療法士業務を復習する。	3.5	
5	社会福祉士として障害児施設で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	障害児施設での社会福祉士業務を復習する。	3.5	
6	社会福祉士として行政で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	行政における社会福祉士業務を復習する	3.5	
7	精神保健福祉士として施設で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	施設での精神保健福祉士業務を復習する。	3.5	
8	精神保健福祉士として病院で働くことについて考える -事例を中心に	同時双方向型授業	病院における精神保健福祉士業務を復習する。	3.5	
試	レポート課題				

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の講義の内容を要約してレポート（100%）として提出し、その内容を持って評価とする。				各レポートにコメントを付けて返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	作業療法学科教員 1 名、人間コミュニケーション学科教員 1 名						
教員の実務経験	医療・福祉・介護分野で複数年の現場経験者（本学卒業生）。						
実践的授業の内容	医療・福祉・介護分野で複数年現場経験した本学卒業生が学生目線で現場の最新トピックスを解かりやすく解説する。授業時間内で理解したことを整理しレポートにまとめる。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・同時双方向型授業では Microsoft Teams を使用する。 ・授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。最新のものを確認するよう注意すること。 						